

とっておきフォトスポット

第38回 奥多摩町

きれいな景色やおもしろいものをみつけたら、写真を撮りたくなるよね。
今回はわたげのボクが「奥多摩湖」と「日原鍾乳洞」を紹介するよ。

次号から
「とっておき歴史発見」
としてリニューアルするよ。



奥多摩湖

@WATAGE



奥多摩湖は、首都圏のオアシスとして親しまれており、東京都の貴重な水源で、総貯水量1億8000万トン、都民が利用する水の約2割を供給しているんだって。

湖には、昔はドラム缶を利用してことから通称ドラム缶橋と呼ばれる浮橋が2つ架けられていて、青梅街道と奥多摩周遊道を結んでいるよ。

浮橋は実際に歩いて渡ることができて、とっておきの観光スポットになっているよ。楽しそうだね。

撮影のPOINT!

- 春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々で景観がかわるので季節ごとに何度も撮影に訪れるのがおすすめだよ。

[現地案内]

◆奥多摩駅（表紙写真） JR青梅線 奥多摩駅

◆奥多摩湖

JR青梅線「奥多摩駅」から西東京バス 奥多摩湖バス停下車

◆日原鍾乳洞

平日 JR青梅線「奥多摩駅」から西東京バス（奥20）
「鍾乳洞」行終点下車、徒歩約3分

休日 JR青梅線「奥多摩駅」から西東京バス（奥21）
「東日原」行終点下車、徒歩約25分

[情報・写真提供] 奥多摩町 観光産業課



日原鍾乳洞

@WATAGE



日原鍾乳洞は東京都の天然記念物に指定され、関東随一の規模を誇るんだって。

洞内は全長約800メートル、1周40分のコースとなっていて、気温は年間を通して約11度と、夏は涼しく、冬は暖かいよ。

整備された通路をたどることで、悠久の時間が織りなす自然の神秘と幻想の世界を十分に味わえるんだ。

撮影のPOINT!

- コースの一部に幻想的な色彩のライトアップが施されていて写真映えする人気のスポットとなっているんだって。



注意 写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

本紙の記事内容や、多摩・島しょ地域に関して取り上げてほしい内容に関するご意見・ご要望は、右記ホームページの問合せフォームにお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年3月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】小暮 実

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。